



樹妙だより

No.206 2023/12



体育祭での応援合戦（2023年10月18日・写真部 澁谷 幸樹君撮影）

慈 悲 喜 捨

私たちにはそれぞれ名字があります。それは、祖先からの命のつながりを示すもので、身体や精神が、祖先から受け継がれたものであるのと同様に、私たちに、魂や血筋、伝統について自覚を促します。

名字は、自分で新たに付けたり、変えることはできません。そのためか、人によっては無関心だったり、嫌な名字だと思う人もいます。

名字は、意味などがすぐに分かるものと、なかなか分からないものがあります。明治8年、すべての国民に名字をつける布告が出され、家のまわりにあった小さな石を見て「小石」とつけたという人もいたということです。しかし、名字がついたわけが分からなくても、よいほうに解釈すれば、生活に支えができます。例えば、「悪人」という名字の人は、漢学者から「自分をへりくだったもので、善人の振りをするよりずっとよい名字です」と言われ、人に対して威張ったり、迷惑をかけないように努めたところ、次第に信用

が増して仕事も順調にいくようになったということです。こじつけと思わずに素直に受けとめ、そのようにしていけば、実生活がよくなっていくということなのでしょう。

私は、母親から「安」と言う字は「家」の中に「女」が収まって、落ち着いて居られるという意味だと教えてもらいました。それ以後そのように受けとめています。なお、祖父や母親の在所には、同姓の方がたくさんいます。また、大相撲の元横綱「日馬富士（はるまふじ）」は、大関まで「安馬（あま）」という四股名でしたが、これには「落ち着いて良い馬」という意味があるそうです。大切なことは、自身の名字が祖先から引き継がれているという自覚を持って生活していくことであるように思います。

一年を締めくくる師走を、祖父や母親のお陰様で今の私自身があることに感謝し、穏やかな気持ちで過ごすようにします。

教頭 金安伸一



12月です。今年も残すところひと月となりました。「光陰矢のごとし」の諺のように毎年毎年時間の経過が速くなってくるように感じます。

年度当初に計画した一年の設計は思い通りに展開致しましたか？

私たちは常に成長していきます。次のステップのためにこの時期しっかり一年を振り返って欲しいと思います。

私の義理の父が年の瀬にいつも口にしていた言葉、「振り向けば、ご恩を受けし人ばかり」、そんな言葉がしみじみわかる年になりました。

今日は生かされていることを実感できる言葉を紹介したいと思います。

私は高校生の時に大東出版から自費出版された『自選坂村真民詩集』という詩集に出会いました。坂村真民さんはその頃まだ無名に近い存在の仏教詩人でありました。

私が偶然手にしたその詩集の中に「二度とない人生だから」という詩がございました。高校生の私には「二度とない人生」という言葉がとても新鮮に響きました。「そうなのか、今生きている僕の人生は1回しかないのか」、この言葉は、今までそんなことを考えたこともなかった私に大事な気づきを与えてくれたようです。以来坂村真民さんの詩を好んで読むようになりました。

最近は生徒たちにも紹介する機会がありませんが、昔の樹徳高校では私以外の多くの先生が、ことあるごとにこの詩を生徒たちに聞かせておりました。

坂村真民 「二度とない人生だから」

二度とない人生だから
一輪の花にも無限の愛をそそいでゆこう
一羽の鳥の声にも無心の耳をかたむけて
ゆこう

二度とない人生だから
一匹のこおろぎでもふみころさないように
こころしてゆこう
どんなにかよろこぶだろう

二度とない人生だから
一ぺんでも多く便りをしよう
返事は必ず書くことにしよう

二度とない人生だから
まず一番身近な者たちにできるだけのことを
しよう
貧しいけれどこころ豊かに接してゆこう

二度とない人生だから
つゆくさのつゆにもめぐりあいのふしぎを
思い
足をとどめてみつめてゆこう

二度とない人生だから
のぼる日しずむ日 まるい月かけてゆく月
四季それぞれの星々の光にふれて
わがこころをあらいきよめてゆこう

二度とない人生だから
戦争のない世の実現に努力し
そういう詩を 一編でも多く作ってゆこう
わたしが死んだらあとをついでくれる若い
人たちのために
この大願を書きつづけてゆこう

この詩に出会ってから50年が経過しますが、今でも、共感することができます。そしてこの人生を感謝しながらもっと豊かに生きねばと思うのであります。

人生は出会いから始まります。何に出会うか、人であったり、仕事であったり、本であったり、物であったり、出来事であったり、あらゆるものとの出会いが私を作り、導いてくれる。

合掌



詩の内容をもとにAdobe Fireflyで生成

夢を編む

花の便りが聞かれる頃、40数年ぶりに樹徳高校の門を潜りました。校舎壁面に掲げられた崇高な「樹徳」という校名を仰いだとき、セピア色の思い出が脳裏を過りました。樹徳高校を卒業し、遙かなる時が過ぎましたが、その時々で樹徳高校の存在を追い求めていました。公立高校に40年近く勤めながらも、いつかは樹徳高校に戻ってきたいという思いを馳せていました。ようやく夢が叶い、樹徳にいられることに感謝し、職務に従事しています。そして今、自分の人生を振り返り、教職の道に導いてくださった当時の樹徳高校の先生方には感謝の念に堪えません。

時といえ、かつて、ある中学校の入試問題に「あなたの今までの人生に、題名をつけるとしたら何とつけますか。また、その理由を30字から40字で述べなさい。」という出題がありました。他人の人生やその人の大切な一日のために、題名をつけてあげる「題名屋」と自称する職業の老人がでてくる、小川洋子さんの短編小説が出典と推測します。

そこで、生徒の皆さんが「題名屋」になったつもりで、自分の今までの人生に題名をつけるとしたら、何とつけますか。また、その理由は何ですか。私のように長く生きてきますと、映画のエンドロールのごとく幾多の場面が思い浮かびます。その物語は、人生の転換期ごとに大見出しをつけ、さらに段落ごとに小見出しをつけなければならない、大河小説のような長編になってしまうかもしれません。あるいは、ジャンルの異なる連作の短編集になってしまうかもしれません。いずれにしろ、限られた字数では収められず、容易に題名がつけられない難問です。正解があるわけではなく、新しい学力観を問うような問題と言えます。一つの正解がないからこそ、人生になぞらえられるのではないのでしょうか。おそらく私ならば、自分が生きてきた過去を振り返り、印象に残ったことや頑張ったこと等を挙げ、将来の夢に繋げ、題名をつけるでしょう。そして、題名の理由を述べることでしょう。人生は、起承転結で構成された永遠の物語です。過去は現在に繋がり、現在を如何

に生きるかが未来を創造します。過去を顧みることは、現在を見つめ直し、未来への夢を育むことにもなります。生徒の皆さんにとって、樹徳高校での学校生活は、夢を開く扉となることでしょう。人生は人と同じということではなく、自分の歩んだ道そのものが一続きの物語となります。生徒の皆さんは、これから無限の可能性に満ちた時を生きていきます。自分自身の物語にどのような題名をつけるか、それは生徒の皆さん一人ひとりに与えられた悠久な夢の課題です。

ところで、私は昨年度まで生徒に対し、機会あるごとに夢について語り、綴ってきました。夢を追うことで、目の前の現状、将来の自分を変える努力をして欲しいと願ったからです。樹徳高校の生徒の皆さんは、どのような夢を抱き、高校生活を過ごしていますか。その夢は今も継続していますか。あるいは、一つの夢を成し遂げ、新たな夢に向かって歩み続けようとしていますか。現在、夢を抱いている人は、その夢を明確にイメージし、日付をつけてください。さらに、夢の実現に向かうプロセスを考え、年ごと月ごとに何をすべきか、落とし込んでいってください。このように具現化することが、これからの行動を変えることに繋がります。まだ夢が見つからないという人は、何ヶ月後、何年後に「夢を見つける日」を計画してみてください。期日を決め「夢を見つける」と心に刻むことで、自然に「どう行動すべきか」を考えるようになります。自身の行動における道標となり、それに従って日々過ごすことで、きっと夢が見つかるでしょう。

夢の実現にはまだ遠くとも、夢を抱きあきらめず努力している一時一時が、確実にその実現に近づいているときではないのでしょうか。

これからの時代が、生徒の皆さんにとって、将来の夢を語り、希望を抱ける社会であって欲しいと切に願います。人生は穏やかな風の日ばかりではありませんが、いくつになっても夢を編み、かたちにする努力を続けたいものです。

顧問 小松 祐一



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

12月の予定は特にありません。

人 体育祭特集 人

今回より、生徒から体育祭実行委員を募り、生徒主体で行われた体育祭。
新たにクラス合同で団を結成し、クラス対抗だけでなく、団対抗の種目も
取り入れられました。実行委員たちは、ゼロから種目を組み立てるため、
大変だったようですが、今まで以上に生徒の活気溢れるよき体育祭となりました。

竹取物語

その1本は誰にも渡さない！



以和為貴リレー

絆がより深くなる！



クラブ対抗リレー

各部らしさが光ります！



開会式 国旗・校旗掲揚



それぞれのクラスTシャツが光る！ 応援の様子



サイドステップで三人三脚！ 以和為貴リレー



1

2

3

4

5

6

7

8

1000m
先生も生徒と併走！



ばんばん
人間戦馬リレー
パワーとバランスの妙！



借人障害物リレー
校長先生も借りられました！



大縄跳び
クラスで一致団結！

ピッパも応援！



クラス 結果

優勝
2年S・SS組
準優勝
3年J6組
第三位
3年J1組
2年J1組
2年K組



優勝クラス
2年S・SS組

団対抗結果

優勝
TKD
準優勝
みちゅいろ

写真協力
写真部、体育祭実行委員会
思い出に残る素敵な写真を
ありがとうございました。

一貫校中学校だより

6年6色

5年生の様子について

5年生(19期生)はチームワークが良く、学校行事に一致団結して取り組むことができます。中学合唱コンクールでは、5年生は音楽の授業で取り組んできたミュージカルを披露しました。脚本は生徒たちのオリジナル作品で、随所にコミカルな場面を散りばめ、中学生から爆笑を誘っていました。全員での歌と踊り、ソリストによる堂々とした歌唱、主要な登場人物による臨場感あふれる演技により、完成度の高い作品に仕上がっていました。それぞれの生徒が、適材適所で、自分の持ち味を出しており、5年生のこのメンバーだからこその行いうことのできた発表でした。

また5年生はいろいろなことに積極的に参加しています。今年、海外科学研修でアメリカを訪れた生徒が、学年の4分の1以上を占めました。また、夏休みに行われた桐生市主催のボランティアスクールや、近隣で行われた子ども食堂や群馬県立図書館のボランティアなど、奉仕活動に参加した生徒も多数います。

生徒たちが今楽しみにしているのは、沖縄への修学旅行です。4年前から計画されていたのですが、新型コロナウイルス感染症流行のため実施できず、今回が初めての実施となります。平和学習や沖縄の文化学習を主な目的とし、ひめゆりの塔などの戦争記念施設を班行動で見学したり、語り部の方を招いて沖縄地上戦の様子を聞いたり、エイサーを鑑賞したり、沖縄の美しい自然に触れたり、盛りだくさんの内容となっています。

5年生が日々一番力を入れていることは、学習です。始業前の英単語テストや数学の朝補習で一日が始まります。授業に集中して取り組むのはもちろんですが、休み時間やすきま時間を利用して学習にいそしむ生徒が多くいます。授業後だけでなく、昼休みや放課後に、様々な教科の先生方に質問している生徒の姿もよく目にします。それぞれの生徒が自分の目標に向かって一途に取り組むことで、お互いに刺激し合っているようです。来年度5年生のメンバー全員でONE TEAMになり、『大学入試』という難局に挑んでいきたいと考えています。

5学年主任 内田 富明

6年生の様子について

6年生(18期生)は朗らかで穏やかな生徒が多く、6年間共に過ごした仲間たちの良さや個性をお互いに分かち合い、認め合い、落ち着いた良い雰囲気構築しています。また、月影祭や体育祭など学校行事では、みんなで一致団結して盛り上げ、一生懸命に取り組める情熱をもった生徒たちです。特に昨年の月影祭では、推理系モノと縁日のブースをつくり、自分たちだけでなく、来場した後輩たちを大いに楽しませてくれました。

今年の学年目標は「受験は団体戦」を掲げました。受験当日は個人で闘うしかありませんが、受験に向かうまでの道のりにおいては「皆で乗り切るぞ!」「皆で合格するぞ!」という雰囲気を大切にしたいと考えています。6年生は国立理系・国立文系・私立理系・私立文系の4コースに分かれ、生徒たちの進路目標に合わせて4コースでの授業展開を進めています。共通テストまで2カ月を切り、生徒たちは中高一貫コースでの集大成である「進路」という出口に向かって、現在一人ひとりが全力で駆け抜けているところです。校内の授業は共通テストに向けた演習・対策が本格化しています。学校での生徒たちの様子は、朝早くから登校して教室で黙々と勉強している生徒も多く、帰りも夜遅くまで友人と残って共生図書館で受験勉強に励んでいたりする生徒もいます。休み時間には勉強を教え合ったり、励まし合ったり、他愛もない会話で気を晴らしたりしながらお互いに助け合って過ごしています。

年が明けるといよいよ受験期に突入します。ひとりでは心細いことも、周りの友人、家族、先生たちと共に乗り越えてくれると信じています。今が一番精神的にも苦しい時だと思いますが、困難や苦難を乗り越えてこそ、人は大きく成長できるのだと思います。そして、この努力はこれから先の人生に必ず役に立ってくれることでしょう。来春には、それぞれが自己実現を叶えて笑顔で樹徳中高一貫校を巣立って行ってくれることを願っています。そしてこれから続く後輩たちへその大きな背中を示してくれることを期待しています。

6学年主任 家住 誠

◆合唱コンクール

10月31日(火)に一貫校講堂で中学生合唱コンクールが実施されました。各クラスで協力し、金賞目指して練習に励んでいました。また4年生・5年生がゲストとして登場し、ミュージカルや合唱を披露しました。

<金賞> 3年1組 『大地讃頌』

<銀賞> 3年2組 『君が君に歌う歌』

2年2組 『スパークル』

<銅賞> なし

<指揮者賞> 2年2組 石井洋星



幼稚園だより

最近、1年が経つのが早く感じます。2023年もう最終月となりました。2学期を締めくくる月でもあります。昨年の12月号を読むと、原稿を書いている時期に、園庭の樹木の紅葉の美しい様子が載っています。しかし、同じ時期である現在の園庭では、まだ紅葉になりきっていない樹木ばかりの状況です。11月のはじめまで夏日となった気候の影響があるのでしょうか。自然は難しいですね。毎年同じ状態になるとは限りません。

◆親子でデイキャンプを楽しむ

11月11日の土曜日に、梅田町にある桐生市青少年野外活動センターで「デイキャンプ」を行いました。このイベントは、今年ボランティアで集まったお父さんたちの組織「父の会」が企画したものです。父の会のメンバーは、打ち合わせを重ねる中で、「子どもたちを楽しませたい」「子どもたちに色々経験させたい」という思いから考えついたのが今回のデイキャンプです。内容としては、午前中に食事作りとシャボン玉遊び、〇×クイズを、午後には竹とんぼ作って飛ばし、昼花火（パラシュート花火）を行いました。

特に、食事作りでは、お父さんやお母さんに助けってもらいながらも子どもたちができることを行い、カレーとフルーツヨーグルトを作りました。2・3歳児がお



米を研いだり、タマネギの皮をむいたりし、4歳児がじゃがいもとにんじんの皮をピーラーでむきます。5歳児はタマネギとにんじん、じゃがいもを包丁で切って鍋に入れます。手の空いている子どもは、飯ごうに研いだお米と水を入れてご飯づくりの準備をしたり、ヨーグルトに果物を入れてフルーツヨーグルトを作ったりします。このように、子どもたちができそうなことを大人が付いてチャレンジさせました。自分たちでつくった食事の味は一段とおいしく感じたようです。大盛りにしてももらったり、おかわりをしたりする子どもたちが続出でした。今回は、ピーラーや包丁で手を切る子どもは一人もいませんでした。家庭の中でも、小さなうちから子どもができそうなことをチャレンジ



させることは大事なことだと思います。忙しい中で子どもの相手をするのは大変だと思いますが、時々取り組んでみてはいかがでしょうか。

◆「こども誰でも通園制度（仮称）」について

政府は、少子化対策実現のための「こども未来戦略方針」を6月に閣議決定しました。その中の目玉政策の一つとして、「こども誰でも通園制度（仮称）」の創設があります。まだ仮称の段階ですが、この制度は、0歳6か月～2歳児でどこの保育施設にも通園していないお子さんを、保護者の就労に関係なく、市区町村が指定した保育所や認定こども園、幼稚園等で毎月一定時間までの利用枠の範囲で預かるという事業です。今年度は31市区町村の50事業所がモデル事業として実施し、子どもや保護者への効果の検証を行っております。令和6年度は、モデル事業をさらに拡充させ、制度の本格実施を見据えた形で進めていくとのことです。

保育所にも幼稚園にも通っていない就学前の子どもたちを通園できるようにすることは、保護者の育児負担や孤立感・不安感の解消につながると考えられ、全ての子どもの育ちを応援し全ての子育て家庭に対する支援を強化すること、と期待がかけられています。一方で、保育現場の負担が増すことも予想され、保育者不足、アレルギーをもつ子どもや障害をもつ子どもの安全確保、保育の質の担保など、多くの課題が残されているのも事実です。今後、それらの課題を一つ一つ解決し、よりよい制度を構築していくことで、子どもや保護者のたくさんの笑顔が見られる社会となることを願っています。

園長 佐野 悦生



入園児募集中

- ◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。
- ◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名
- 入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。
- お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。 ☎0277-53-5571

桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

12月(布施)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	金	2年生修学旅行帰郷 推薦・一般入試ネット出願(受験生)(~11日) 校内安全点検日 県校長会 3年進学組三者面談	5年生 修学旅行 更衣	安全点検日
2	土			開園日(預かり保育)
3	日			
4	月	朝礼 マイトリー基金拠金日 学年主任会⑧	中学 2学期期末試験(~6日) 中学・高校 三者面談(~7日 5年生は11日まで)	成道会(於 大善寺)
5	火	授業料納入日 日私中高連常任理事会		幼交連防犯教室 読み聞かせ
6	水	探究・LHR		文字(年長)
7	木	後援会役員会③		文字(年中)
8	金	成道会 球技大会 第2回法人役員会	中学 マラソン大会 高校 球技大会	保育料納入日
9	土			開園日(預かり保育)
10	日	GTEC③		
11	月	教科主任会⑦		
12	火	推薦・一般入試出願書類受付期間(~19日)		
13	水	探究・LHR(人権教育) 出欠統計提出 二学期出欠締切 担任宛成績提出(13:00)		
14	木			
15	金	制服アフターサービス 教務宛成績提出(13:00)	三越アフターサービス	なかよし発表会予行練習 10:30~13:30 樹徳高校勢至ホール
16	土		第二期中学入試	なかよし発表会 9:30~11:30 樹徳高校勢至ホール
17	日			
18	月	献血①		なかよし発表会振替休業日 預かり保育
19	火	献血②		ボール投げ教室 読み聞かせ
20	水	探究・LHR 成績会議(16:00~) 願書・調査書照会(~21日)		英語(全)・文字(年長)
21	木	2年生入試補助生徒事前指導		体育(全)・文字(年中)
22	金	終業式(大掃除・学年別一斉指導) 奨学生審査会② 入試準備事務	終業式	2学期終業式 園内清掃(さくら組保護者)
23	土			開園日(預かり保育)
24	日	第39回吹奏楽部定期コンサート		
25	月	生徒冬休み(~1/4) 入試準備事務 調査書確認・評定合計入力(~12/26)	中学 WSL/実力養成講座(~27日) 高校 補習(~27日)	冬季休業日(~1/7) 預かり保育①
26	火	入試準備事務		預かり保育②
27	水			預かり保育③
28	木	職員休暇		預かり保育④
29	金	職員休暇		年末年始休業日(~1/3)
30	土			
31	日			

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況により予定が変更されることがあります。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/> 発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく